



ちばっ子学びの未来デザインシートで

期待される効果と具体的なフィードバックについて



「ちばっ子学びの未来デザインシート」を実施することでどのような効果が期待できるのですか？
また、フィードバックは、どのように行われるのですか？

児童生徒の結果を分析することで、

○児童生徒は、**学んだことを適切に活用できているか理解し、今後の学習への見通しをもつための資料**として活用できます。

○先生方は、自らの**指導方法について振り返り、授業改善につながる資料**として活用できます。

これらによって、児童生徒の学習意欲と教員の指導力の向上が効果として期待されています。フィードバックのモデル例を掲載しました。

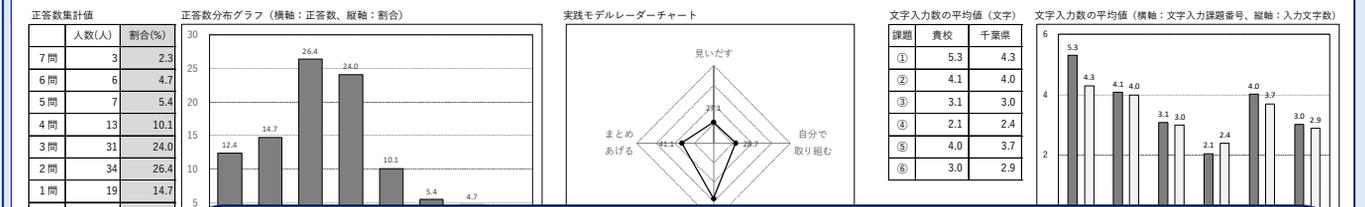


令和4年度 ちばっ子学びの未来デザインシート 学年別集計結果 【〇〇市立〇〇小学校 3年(実施人数: 〇〇名)】

実践モデル別のフィードバック：各実践モデルに該当する問題の正答率に応じたコメント

実践モデルプログラム 4つの過程	実践モデル	実践モデル別のフィードバック：各実践モデルに該当する問題の正答率に応じたコメント
(1) ①	【1 見いだす】	貴学年は、「見いだす場面」に課題が見られます。学習の課題を見いだす時には、目的に合わせて情報をグラフや表に整理したり、どの資料を使うと効果的かを考えさせたりすることを大切にしてください。また探究的な学習となるように課題設定の場面を工夫することが重要です。
(2) ②	【2 自分で取り組む】	貴学年は、「自分で取り組む場面」に課題が見られます。課題に取り組ませる時には、目的に対し、課題をどう捉え工夫したらよいかを思考・判断させる場面を大切にしてください。また、適宜必要な情報を活用し、自ら取り組ませる場面を工夫することが重要です。
(3) ③	【3 広げ深める】	貴学年は、「広げ深める場面」が大変よくできています。日頃から活動を広げ深める時には、課題解決に向け多様な視点で取り組ませる中でよりよい方法を話し合う場面を設定することでしよう。これからも根拠を持って話し合いながら、広げ深める場面を工夫しましょう。
(4) ④	【4 まとめあげる】	貴学年は、「まとめあげる場面」に課題が見られます。学習したことをまとめる時には、学んだことを自ら振り返らせ、身に付けた資質・能力を次の学習にいかすことを大切にしてください。また、身に付けたことをどう活用するかを共有する場面を工夫することが重要です。

実践モデル別のフィードバック：各実践モデルに該当する問題の正答率に応じたコメント	実践モデル別のフィードバック：各実践モデルに該当する問題の正答率に応じたコメント
【1 見いだす】 貴学年は、「見いだす場面」に課題が見られます。学習の課題を見いだす時には、目的に合わせて情報をグラフや表に整理したり、どの資料を使うと効果的かを考えさせたりすることを大切にしてください。また探究的な学習となるように課題設定の場面を工夫することが重要です。	【2 自分で取り組む】 貴学年は、「自分で取り組む場面」に課題が見られます。課題に取り組ませる時には、目的に対し、課題をどう捉え工夫したらよいかを思考・判断させる場面を大切にしてください。また、適宜必要な情報を活用し、自ら取り組ませる場面を工夫することが重要です。
【3 広げ深める】 貴学年は、「広げ深める場面」が大変よくできています。日頃から活動を広げ深める時には、課題解決に向け多様な視点で取り組ませる中でよりよい方法を話し合う場面を設定することでしよう。これからも根拠を持って話し合いながら、広げ深める場面を工夫しましょう。	【4 まとめあげる】 貴学年は、「まとめあげる場面」に課題が見られます。学習したことをまとめる時には、学んだことを自ら振り返らせ、身に付けた資質・能力を次の学習にいかすことを大切にしてください。また、身に付けたことをどう活用するかを共有する場面を工夫することが重要です。



教師用の学年別フィードバックでは、「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」の4つの過程それぞれに該当する問題の解答状況から、授業改善に向けたアドバイスが掲載されています。

その他にも、アンケート結果の一覧やタイピング能力を測る文字入力テストの結果分布などもフィードバックされるので、児童生徒の実態把握や指導改善に向けた活用ができますね！





児童生徒用のフィードバックでは、各設問の解答状況から、現在の学習状況や今後の学習に対する見通しに関するアドバイスが書かれているので、教科の枠を越えて自らの学習を振り返ることができますね！



児童生徒一人一人の状況を把握することで、一人一人のニーズに合った指導の在り方について、先生方が見直すきっかけにもなりますよ！

実施年度 【令和4年度】

ちばっ子学びの未来デザインシート 個人票



千葉県マスコットキャラクター
チーパくん

学校名	学年	組	番	個人ID	名前
	1年				

ちばっ子学びの未来デザインシートの解答結果					
小題番号	出題のねらい	解答形式	解答状況	今後の学習に向けて	
(1)	① プラスチックの生産量が増加してきた背景について、資料1、2、会話文から読み取れる「プラスチックが便利である」といった視点から、その理由を推察することができるかどうかをみる。	短答式		プラスチックの生産量が増加してきた背景について、資料1、2、会話文から読み取れる「プラスチックが便利である」といった視点から、どういった点が便利であるのかを答えよう。	
	② 資料1、2、未来さんとまなぶさん、先生の会話の流れ、未来さんの会話にある逆側の感情から、未来さんが疑問に感じた点を思いだせるかどうかをみる。	短答式	○	資料1、2、未来さんとまなぶさん、先生の会話の流れと、未来さんの「でも」という逆側の感情から、「プラスチックの生産量の増加」に対しての表現が必要であることを見いだすことができる。	
(2)	① マイクロプラスチックが発生する過程を計算式で考えることができるかどうかをみる。	短答式		マイクロプラスチックがどういったものを会話文から読み取り、<条件>に沿って、適切な計算式を立てて計算し、小数第1位の四捨五入をこない、正答を書くことができる。	
	② プラスチックがマイクロプラスチック化すること、人新世の地層堆積(ちそうたいせき)の共通の要因について、資料3、4より読み取れる旨と、プラスチックの性質を関連付けられるかどうかをみる。	選択式	○	プラスチックがマイクロプラスチック化すること、人新世の地層堆積の共通の要因について、資料の内容と、プラスチックの性質を関連付けることができる。今後も、学習したことと新たな知識と関連付ける習慣を大切にしよう。	
	③ 人新世の地層堆積(ちそうたいせき)について、「残りつづける人工物」という共通点を読みだし、選択肢(せんたくし)の中でプラスチック以外の堆積する可能性があるものを推察できるかどうかをみる。	選択式		人新世の地層堆積について、「残りつづける人工物」という点を考えることができるが、すべての選択肢を選ぶことができず、コンクリートや、放射性物質がどういったものを調べてみよう。	
(3)	① 「プラごみを減らしよう」というだけでなく、マイクロプラスチックの問題は解決できるけど、別の問題が生まれる」といふ考えを、資料から読み取り、適切な言葉で答えることができるかどうかをみる。	短答式		「プラごみを減らそう」というだけでなく、マイクロプラスチックの問題は解決できるけど、別の問題が生まれる」といふ考えを、資料から読み取り、適切な言葉で答えることができる。	
	② <生分解プラスチックの3つの良い点>についての資料から読み取ることができる情報に基づいて、要点を整理し、適切な選択肢(せんたくし)を選択することができるかどうかをみる。	選択式	○	<生分解プラスチックの3つの良い点>についての資料から読み取ることができる情報に基づいて、要点を整理し、適切な選択肢を選択できている。	
(4)	① プラスチックについて調べた資料名、未来さんのグループの発表構成(「生産」「消費」「廃棄(はいせき)」「処理」)に沿って分類できるかどうかをみる。	短答式	○	プラスチックについて調べた資料名、未来さんのグループの発表構成(「生産」「消費」「廃棄(はいせき)」「処理」)に沿って分類できる。今後も、学習したことを振り返る習慣を大切にしよう。	
	② プラスチックの「処理」の項目(こうもく)について、資料、リサイクルという言葉にふさわしく、記述することができるかどうかをみる。	記述式	○	プラスチックの「処理」の項目について、資料の内容と、「リサイクル」という言葉を関連付け、自分たちの心がけるべき具体的な行動が記述できている。プラごみ問題解決のために自分たちができることは何かを考えるきっかけにしよう。	

文字入力課題の結果(課題文とあなたが行った文字数・平均文字入力数)				
①あいに、くだものが好きです。	15文字中	0	文字入力できませんでした	学年平均 5.1 字
②ある日の朝は、互いにお子です。	16文字中	0	文字入力できませんでした	学年平均 7.4 字
③雨の日は、室内で読書します。	15文字中	15	文字入力できました	学年平均 4.6 字
④ぼくのクラスは、3年2組です。	15文字中	8	文字入力できませんでした	学年平均 8.2 字
⑤もしもしろちゃんが、キャバレーにいる。	18文字中	11	文字入力できました	学年平均 8.2 字
⑥サッカーで、Aチームに入った。	15文字中	3	文字入力できました	学年平均 8.3 字

令和4年度の問題等についての概要

- 対象学年：小学校3年生～中学校2年生の6学年
- 問題形式：記述式問題を含む全ての問題をC B T形式で実施
- 問題数：各学年とも8問程度
- 調査時間：小学校45分・中学校50分
 - ※タイピング能力を測る文字入力テストを併せて実施しました。
 - ※ガイダンス、操作練習、調査問題に取り組む時間、文字入力テスト、アンケートを含めた調査時間の合計は85分程度となりました。

※写真は東国分爽風学園市川市立東国分中学校での実施した際の様子です。(令和5年1月13日撮影)



○令和5年度の調査実施時間等は、今年度の実施状況や実施校からのアンケート調査などを基に現在検討中ですので、変更になる可能性があります。

令和5年度の実施スケジュールについて

- 5月 各市町村教育委員会に調査実施の確認
- 7月 実施校調査(学級数・児童生徒数等)
- 9月 実施日調査(小学校…1月希望日、中学校…12月希望日)
- 10月 ネットワーク環境診断の実施
- 11月 中学校実施マニュアルの送付
- 12月 小学校実施マニュアルの送付
- 中学校調査実施 ※文字入力テスト、生徒アンケート調査を含む
- 1月 小学校調査実施 ※文字入力テスト、児童アンケート調査を含む
- 3月 解答結果の送付(各小中学校、児童生徒等)

児童生徒の学びの振り返りと先生方の授業改善に向けて、「ちばっ子学びの未来デザインシート」を御活用ください。